

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		090513		リサイクルふれあい館施設管理事業		担当部課	部課コード	090590	2994-5374
事業コード		090513		リサイクルふれあい館施設管理事業		資源循環推進課			
開始年度		平成 15 年度		終了年度		平成 年度			
グループ		リサイクルふれあい館							
事業の概要	事業の種類別	自治事務		法定受託事務		法定受託 + 附加		根拠法令	
	分野別計画・指針	一般廃棄物処理基本計画、環境基本計画						循環型社会形成推進基本法、所沢市リサイクルふれあい館条例、所沢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	
	関連・類似事業	廃棄物リサイクル事業(資源循環推進課)							
	総合計画の体系	章	環境・自然	節	廃棄物の減量・資源の循環	基本方針	ごみの減量と資源化の推進		
事業開始の背景	東部クリーンセンター建設に伴い、ごみの減量化及びリサイクル思想の普及に関する学習と情報の拠点として建設された。なお、東所沢エコステーションは平成20年4月に東部クリーンセンター収集事務所が建設されたことに伴い、同事務所内に併設された。								
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)								
	来館者が快適に利用できるよう、長期間にわたり安全で良好な施設機能を維持することを目的とする。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)	リサイクルふれあい館が管理運営している施設の維持管理(警備、空調設備、清掃等)。		対象数	単位	平成 26 年度	2	館	
	平成 27 年度	2	館						
事業の具体的な内容及び実施方法									
リサイクルふれあい館: 清掃業務、設備機器保守管理業務、公共建築物定期点検業務などを施設機能を維持するために仕様書に基づき実施。 東所沢エコステーション: 古着、陶磁器、段ボール、新聞紙、CD・DVD、おもちゃなどの回収。									
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)			
	予算現額			11,385	10,938	12,211			
	決算(見込み含む)			10,161	10,124				
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(0.00 人)	(0.16 人)	(人)	(0.20 人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。			
	正規職員人件費	1.60 人	13,954	0.75 人	6,495				
	事業費合計			24,115	16,619				
	財源内訳	一般財源			24,115	16,619	12,211		
国・県支出金			0	0					
その他()			0	0					
実績	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	来館者数	視察・行事・講習会・再利用促進事業利用者	人	18,021	17,393	17,000	17,500	
		利用者数	東所沢エコステーション利用者	人	14,944	15,524	16,000	16,500	
成果	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	開館日数	年間開館日数	日	目標値	294	294	294	294
					実績	294	294	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図る <input type="checkbox"/> 「実績」縮小図る	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	100	100	どちらかをチェックしてください		
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)				(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	施設の維持管理をする中で、不具合が発生した風力発電装置や多目的トイレの自動ドア装置など適切に修繕を実施し、館の安全安心な施設機能を維持した。								
評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	理由	安全安心な施設機能の維持管理を継続的に実施する必要があるため。			
		<input type="checkbox"/> 終了		<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他		今後も安全安心な施設管理を実施していく必要があるため。			
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況				(2)今後の方向性				
	施設管理の中で、老朽化した電話設備交換修繕を計画的に実施する。				引き続き、法を遵守し、適正な維持管理に努めるとともに、建築設備の機械・電気設備は耐用年数を経過しているため、早めの修繕対応を図る。				
評価日	H28.8.5		評価者職氏名	資源循環推進課長 池田 淳					
環境影響	有益な環境影響			有害な環境影響を及ぼす原因活動	CO2の発生		規制を受ける環境法令等	無	
							緊急事態	無	